

## 医療情報の標準化急げ

産業医科大学教授(公衆衛生学) 松田 晋哉

今回の新型コロナウイルスの感染拡大でわが国のIT(情報技術)活用の枠組みが、他の先進国に比べて大きく遅れていることが明らかになった。陽性患者の情報登録が手作業で、しかもデータのやり取りにファクスを使っていたことから、間違いや分析遅れが目立った。極めて残念な状況だ。医療や保健情報の活用体制の確立はこれまで何回も指摘されてきたはずなのに、なぜ整備が進んでこなかったのだろうか。

今回の新型コロナウイルスの感染拡大でわが国のIT(情報技術)活用の枠組みが、他の先進国に比べて大きく遅れていることが明らかになった。陽性患者の情報登録が手作業で、しかもデータのやり取りにファクスを使っていたことから、間違いや分析遅れが目立った。極めて残念な状況だ。医療や保健情報の活用体制の確立はこれまで何回も指摘されてきたはずなのに、なぜ整備が進んでこなかったのだろうか。

今回の新型コロナウイルスの感染拡大でわが国のIT(情報技術)活用の枠組みが、他の先進国に比べて大きく遅れていることが明らかになった。陽性患者の情報登録が手作業で、しかもデータのやり取りにファクスを使っていたことから、間違いや分析遅れが目立った。極めて残念な状況だ。医療や保健情報の活用体制の確立はこれまで何回も指摘されてきたはずなのに、なぜ整備が進んでこなかったのだろうか。

(掲載について許諾済、無断転載(コピー、スマートフォン等での撮影)禁止)